

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、意欲的に学ぶ、たくましい児童の育成

2 本年度の重点目標・特色ある取り組み

① 基礎基本の定着と自ら学び、考え、表現する力の育成

- ・確かな学力の育成(一人一人の学力に応じたきめ細かな指導)
- ・基礎力の時間、チャレンジタイムの実施
- ・自学のすすめ(取組の良い自学ノートの掲示)
- ・言語活動の充実(一人一人が主役。多様な発表、表現の場を設ける)
- ・体験活動の充実、問題解決学習の重視
- ・図書室の有効活用、朝の読書、ボランティアによる読み聞かせ
- ・一人一台タブレット端末の活用(ICT 機器)、プログラミング教育の実施

② 道徳教育の充実による豊かな心の育成

- ・心のバリアフリー教育(千葉県拠点指定校)
- ・道徳授業の充実(考え、議論する道徳の実践)
- ・郷土愛を育てる(歴史と伝統ある学校、町探検)
- ・豊かな心の育成(道徳教育、縦割り班活動、朝のボランティア活動)

③ 心身ともに健康でたくましい体づくりの推進

- ・自分で自分を守ること(危険予知能力の育成)
- ・外遊びの奨励(リフレッシュタイム、ロング昼休みの設定)
- ・陸上記録会に向けた取り組み
- ・向寒マラソンや縄跳び活動
- ・健やかな体の育成
(合同体育による教え合いと切磋琢磨、課外活動による体力の向上、保健教育、食の教育)

④ 地域の教育力を活かした学校づくりの推進

- ・地域と共にある学校(地区運動会、外部講師の活用、自由参観日、各種たよりの充実)
- ・幼稚園、丘山振興会、体育協会等との連携
- ・勤労観・職業観の育成(発達段階に応じたキャリア教育、キャリアパスポートの活用)
- ・学校支援ボランティア(朝の登校観察、読み聞かせ活動)

⑤ 幼・小・中の連携、他校との交流活動の推進

- ・丘山幼稚園との連携(合同の運動会、交流給食)
- ・城西小学校、西中学校との情報交換、連携推進

⑥ 子どものニーズに対応した特別支援教育の充実

- ・ユニバーサルデザインの推進
- ・特別支援コーディネーターを中心とした特別支援教育の充実(合理的配慮)
- ・「なかよし学級」のセンター的機能
- ・関係機関との連携(東金特別支援学校など)
- ・心のバリアフリー教育(千葉県拠点指定校)

3 具体的な評価項目の取り組み及び考察

評価項目	取り組み及び考察
<p>①</p> <p>・確かな学力の育成ができたか</p>	<p>令和4年度は、GIGAスクール構想と共にコロナ禍に入り、3年目を迎えている。令和の日本型学校教育といわれる個別最適な学びや協働的な学びを意識し、一人一台タブレット端末を活用した授業に取組み、教職員は積極的にICT機器を利活用している。</p> <p>「先生は、わかりやすく楽しい授業をしてくれる」「わかるまで丁寧に教えてくれる」について、それぞれ児童は98～100%と回答している。保護者も肯定的な回答である。「学習したことがわかっている」について、児童94%、保護者とも92%と高い回答であった。「毎日、家庭学習(10分×学年)をしている」の児童の回答が向上した。児童は、授業に概ね意欲的に取り組んでいる。保護者と児童との間には、多少の認識の差があるが、保護者の方のお子さんを思うより良い成長を願っていることがわかる。</p> <p>学力向上、自ら学ぶ姿勢を育むためには、家庭学習の取り組みも欠かせない。家庭と学校の双方の取り組みから成果をあげていく必要がある。今後も、家庭と連携しながら推進していく。</p> <p>○朝の読書活動(読み聞かせボランティアの活用)</p> <p>○基礎力の時間</p> <p>○「ちばっ子チャレンジ100」の問題は、基礎力の時間にチャレンジタイムを設定し、児童の達成度を図っている。</p>

評価項目	取り組み及び考察
<p>②</p> <p>・豊かな心の育成ができたか</p>	<p>今年度、丘山小学校は千葉県より「心のバリアフリー教育」の拠点校として指定されている。「共生社会」の形成を目指し、障害の有無にかかわらず、一人ひとりが輝きをもって生きられるよう共生社会の気づきを深めるため、パラアスリートによる車椅子バスケットボールの体験型授業やパラスポーツのボッチャ体験などの取り組みを通して学んでいるところである。</p> <p>児童の「学校は楽しい」94%「友達と仲良く思いやりの気持ちをもって生活している」94%「先生は困ったことや悩みの相談を聞いてくれる」が100%であった。保護者、教職員ともに肯定的な意見がほぼ9割を超えている。日頃の生徒指導や教育相談が効果を得ていると考えるが、児童と保護者との認識に差がある。これについては、家庭での会話や学校との対話を意識して進めていきたい。</p> <p>また、コロナ禍であり、日程変更や短縮はしたものの、本部役員をはじめ、保護者の方の協力により、運動会や丘山縁日を開催できたことも大きい。</p> <p>「▲」は新型コロナウイルス流行前に例年実施していた行事である。</p> <p>本年度においては、学びを止めないという学習保障の観点から実施したのものも多い。(時期の変更や縮小・形態を工夫して実施も含む)</p> <p>(全校) ▲小町公園への1年生歓迎遠足【中止】</p> <p>※校庭での歓迎会に変更</p> <p>○ニコニコ集会(いじめ撲滅集会・SOSの出し方教育)</p> <p>○丘山小誕生日集会</p> <p>○運動会</p> <p>○PTA主催の丘山縁日</p> <p>(3～6年)○書き初め練習会【外部講師による指導】</p> <p>(3・4年)○芸術鑑賞会【外部講師による指導】</p> <p>(4～6年)○パラアスリートによる車いすバスケット体験型授業【外部講師による指導】</p> <p>(5・6年)○心肺蘇生法講習【外部講師による指導】</p> <p>(4・5年)○東金青少年自然の家での宿泊学習</p> <p>(1、2年)○サツマイモ植え、収穫</p> <p>○校外学習(千葉動物公園)</p> <p>○おもちゃ大会をしよう。</p>

	<p>(1 年) ○校外学習(小町公園)「秋をさがそう」 ○幼稚園との交流会</p> <p>(2 年) ○学区内探検(2回実施) ▲野菜苗購入(路線バスを活用)【中止】</p> <p>(3 年) ○学区内砂糖工場の見学 ○校外学習(房総のむら) ○東金駅周辺・イオンの見学 ○東金中央消防署見学 ▲東金警察署見学</p> <p>(4 年) ○人権教室【外部講師による指導】 ▲浄水場・クリーンセンター見学 ○学区調べ・安全マップづくり</p> <p>(5 年) ○人権教室【外部講師による指導】 ○校外学習(中央博物館、JFE(製鉄所)) ○高齢者疑似体験・介護体験</p> <p>(6 年) ○租税教室【外部講師による指導】 ○宿泊体験学習Ⅱ 修学旅行「箱根・鎌倉方面」 ○校外学習(歴史民俗博物館) ○薬物乱用防止教室【外部講師による指導】 ○火おこし・勾玉づくり体験【外部講師による指導】 ○ボッチャ体験【外部講師による指導】 ○認知症サポーター養成講座【外部講師による指導】 ○読売新聞手作り新聞コンクール応募</p> <p>→実態に即した体験学習、校外学習となるようさらに、時期・場所・方法などを検討していく必要がある。</p>
<p>評価項目</p>	<p>取り組み及び考察</p>
<p>③ ・健康でたくましい体づくりの推進ができたか</p>	<p>今年度、4年生～6年生が参加した郡市球技大会のソフトバレーボールでは、準優勝という輝かしい結果を残すことができた。これは、日頃の体育指導の成果であると考えている。今年度も引き続き、体育を近接学年合同で実施した。多くの友達から刺激を受けることができるので有効である。今後も、めあてのもとせ方の工夫を考えながら、めあてに向かって挑戦する児童を体育の実践から育成できるようにしていきたい。</p> <p>また、外遊びの奨励としてロング昼休みを設定している。本校は、学年の枠を飛び越えて一緒に遊ぶ姿が多く見られる。楽しみながら、自ら運動に親しむことができる環境を引き続きつづけていく。</p> <p>栄養教諭と担任のチームティーチングで食に関する授業を学習参観時に展開した。また、毎月の献立や各種たよりにおいて、「早ね・早起き・朝ごはん」の大切さを取り上げてきた。「失敗を恐れずにより高い目標にチャレンジしている」については、児童 86%、保護者 60%という結果であった。ここでも保護者と児童については、認識の差があるようだ。この項目は、保護者の期待の表れてもあると考えるが毎年の課題である。様々な体験を通して、友達と切磋琢磨し、失敗にもくじけないうまくましい児童の育成に努めたい。</p> <p>安全につながる美しい快適な環境づくりについては、人数も少ないため、全校や全職員で行ったり、曜日を決めて実施したりすることで、環境美化の維持に努めている。</p> <p>○引き渡し避難訓練(運動会に実施) ○避難訓練(不審者、火災、地震、シェイクアウト訓練への参加) ○交通安全教室の開催(4月) ※登校時には、交通指導ボランティアの協力もあり、これまで交通事故の報告が無かったことに感謝したい。「自分の命は自分で守る」ことは、下校時にも意識させている。 ○栄養教諭を中心とした食育教育</p>

	<p>(1年)そら豆のさやむき体験 (2年)グリーンピースさやむき体験 (3年)トウモロコシの皮むき体験 (4年)ヤングコーンの皮むき体験</p> <p>活動の様子を、「食育だより」としてホームページ等で家庭や地域に紹介している。</p> <p>○養護教諭の計画によるブラッシング指導や心肺蘇生法講習【外部講師による指導】 ○体育主任の計画による着衣水泳【水難学会】 ※水泳実習は、感染防止策を施して実施。 ○向寒マラソン、校内マラソン記録会 ○ロング昼休みの設定 ○縄跳び運動の奨励<1月～実施></p>
--	---

評価項目	取り組み及び考察
④ ・地域の教育力を活かした学校づくりの推進	<p>今年度も運動会は新型コロナウイルス感染防止のため、保護者の参観人数を制限した。地域や体協の方等には、参加を自粛していただいている。今年度は7月頃から夏季休業中にかけて第7波があり、幼稚園からの申し出により、感染対策として合同で運動会を行わなかった。</p> <p>PTA主催の丘山緑日は、前年度と同様の規模で、感染防止対策を施し実施をしていただいた。今回も、幼稚園児の参加については、感染防止のため、周知しなかった。</p> <p>生きる力を育む社会に開かれた教育の実現に向けて、今後、アフターコロナを見据えた学校を核とした地域の取り組みについて、方法や内容を検討する必要がある。</p> <p><支援ボランティアによる活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝の登校観察 ○クラブ活動の講師 ○読み聞かせ活動【月に1回程度】 ○学校運営協議会【6月実施・2月実施予定】 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大のため、2年間は中止とし、資料配付していたが、今年度は、6月に開催することができた。</p>

評価項目	取り組み及び考察
⑤ ・幼・小・中の連携、他校との交流活動の推進ができたか	<p>この3年間は、コロナ禍のため、思うように実施することができていない。しかし、工夫しながら幼少中の連携や交流に関して、前向きに検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西中学校区での情報交換【生徒指導連絡協議会の開催】 ○西中学校職場体験受け入れ ○東金市特別支援学級合同学習会 ○丘山幼稚園児との交流

評価項目	取り組み及び考察
⑥ ・子どものニーズに対応した特別支援教育の充実が図れたか	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援の推進 一人一台タブレット端末（ICT機器）の利活用によるわかる授業 ○合理的配慮の推進 ○校内支援委員会の開催（月1回） ○教育事務所指導主事の特別支援教育コーディネーター来校による職員研修

評価項目	取り組み及び考察
⑦ ・職員の研究と修養は推進されているか	<ul style="list-style-type: none"> ○OGIGA スクール構想により、一人一台タブレット端末の活用における授業の利活用の方法について、講師を招聘し、夏季研修会を実施した。 ○教育事務所指導主事を講師として、言語活動の重視に視点を置いた国語科の授業研究を2回実施した。 →全職員での指導案検討会 ○若手フレッシュ研修の実施。相互授業参観。 ○心肺蘇生法に関する職員研修。実際の水泳学習を想定して、有事の際に対応できる研修を行った。

4 総合的な考察

取 り 組 み 及 び 考 察

保護者の回答 25 項目のうち、22項目について、合計値が80%以上を超えた高評価をいただいている。しかしながら、前期と比較して、6ポイント以上下がってしまった項目が6項目あった。

学校では、保護者の意見を聞く場を設けるため、行事等ではアンケートを実施し、保護者の要望に応えられるよう、課題を今後に生かす努力をしている。児童の活動の様子では、今年度はホームページ等の活用も進めている。さらに、コロナ禍でも、学びを止めない取り組みとして、積極的に校外学習や講師をお招きした体験活動の機会を増やし、児童が生き生きと学ぶことができるよう取り組んでいる。今後とも保護者の皆様には忌憚のないご意見をいただきながら、より良い丘山小学校となるよう前進していきたい。また、児童への支援・指導に関しても保護者と児童との間に認識の差がある。この差を埋めるためには、家庭での会話や学校との対話である。学校では、学校教育目標である「豊かな心をもち、意欲的に学ぶ、たくましい児童の育成」に向けて、教職員一丸となって取り組んでいる。子どものよさや気持ちを理解し、より良い成長を願うのは、保護者も教職員も同じである。教職員も更なる高みを目指して、研修と修養に努めていく。

今年度の重点目標・特色ある取り組みは、コロナ禍で今年も制限されたが、学校生活も通常に戻りつつあり、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、今回のアンケート結果を真摯に受け止め、改善に努力し、更により良い丘山小にするための一助としていく。

学校は学びの場である。まずは確かな学力の育成のために、学習規律を徹底していくなど、基本的な生活習慣の確立が大事である。児童が安心して生活できる心の豊かさ、成長のためには学習指導の充実、体験活動の重視、教育相談活動の充実等、支援体制を確立・強化し、継続して取り組んでいく。

5 今後取り組むべき事項 「すべては丘山小の子ども達のために」

○学校からの情報発信

○地域の学校としての活動の推進、家庭、地域との連携

「丘山小の子ども達のために」…ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた、活力ある学校運営。

今後、感染防止対策を踏まえ、実施に向けた取り組みを見直していくことが必要である。

そして、家庭、地域から信頼され、地域の学校として意識してもらえるように学校の状況を積極的に発信していく必要がある。家庭、学校、地域が子ども達を愛情をもって育むと共に、子ども達が、家庭、学校、地域に愛情をもてるようにしなければならない。そのためには、地域の学校としての家庭・地域の理解・協力は欠かせない。丘山小のよさを生かした取り組みを、ぜひ実施していきたい。

また、教職員の笑顔は、子ども達の笑顔である。教職員がいつもはつらつとし、児童と向き合う時間を確保することは大事なことである。児童が、「自信」と「誇り」をもてるように支援していくためには、職員の働き方改革、健康も考え、よりよい学校の取り組みを検討・実践していく。

課題である「失敗にもくじけないうまい児童の育成」に努めるために、令和5年度も、「学級経営」「特別支援教育」等についての職員研修を充実させていくことを考えていきたい。

	課 題	具体的な取組・方法
①	・ 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器の利活用 ・校内研修の充実 ・学習指導法の工夫と改善 ○授業規律の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・話の聴き方、話し方、授業の約束を徹底する ○表現力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の充実 ・書く力、表現する力（伝える力）等をつけ、自信をもたせる ○基礎・基本の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ドリル学習の実施。・基礎力の時間を設定する ・読書活動の充実 ○家庭との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きの配付
②	・ 体育・健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上（運動量の確保） <ul style="list-style-type: none"> ・近接学年合同体育の実施 ・体育科指導の充実をする ○健康教育 <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭を中心として、組織的な保健指導の充実を図る ・学校保健委員会の開催（学校医との連携） ○食に関する指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を中心として、組織的な食育指導の充実を図る ・食物アレルギー対策の推進
③	・ 学校を核とした地域の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○社会に開かれた教育の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・地域・保護者（PTA）との連携（交通指導等） ・丘山地区運動会の実施（幼稚園との連携等） ・地域ボランティアによるクラブ活動 ・学びにおける地域人材の活用（外部講師による指導） ・関係機関との連携
④	・ 安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○防災教育 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施（地震・火災・不審者等） ※「自分の命は自分で守る」意識の構築 ・「安全、安心な学校」毎月の安全点検の充実 ○事故防止 <ul style="list-style-type: none"> ・危険予知能力の育成（保健学習等） ・大きな交差点での丘山ルール「全員揃ってから渡る」の徹底 ・ろうかは走らない等、「あたり前のこと」の徹底

⑤	・よりよい人間関係づくりの推進	○安心な学校(心の居場所がある) ○道徳教育の充実 ○毎月の心のチェック、学期ごとのアセスの実施 ○ロング昼休みの活用 ○学期ごとの教育相談週間の実施 ○特別支援教育の充実、児童理解と合理的配慮の推進 ※専門機関との連携(スクールカウンセラー・学校訪問相談担当教員等の活用)
---	-----------------	---

評価項目および評価結果について

※評価結果：4段階のうち、「A そう思う」、「B ほぼそう思う」の2段階の合計を示した。(%)
 (※教職員の無回答の場合は、A+Bの合計に反映されていない。例えば、(20)「家庭学習について」などは、担任以外の職員が回答しにくい場合があるので数値が低くなっている。)

① 確かな学力の育成ができたか。

評価者	評価項目	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
児童	(15) 先生は、わかりやすく楽しい授業をしてくれる。	95	96	100	98
	(16) 先生は、わかるまで丁寧に教えてくれる。	94	95	98	100
	(19) 授業で学習したことがわかっている。	92	89	92	94
	(20) 毎日、家庭学習(10分×学年)をしている。	75	79	80	86
	(24) 宿題や家での勉強をうちの人がみしてくれる。	84	79	94	80
保護者	(15) 教師は、わかりやすく楽しい授業を行っている。	94	95	94	95
	(16) 教師は、お子さんがわかるまで丁寧に教えている。	83	91	94	89
	(19) お子さんは、学習したことが身についている。	89	93	94	92
	(20) お子さんは、毎日家庭学習(10分×学年)をしている。	64	68	71	69
教職員	(15) 教師は、わかりやすく楽しい授業を行っている。	100	92	100	92
	(16) 教師は、児童がわかるまで丁寧に教えている。	100	92	92	92
	(19) 児童は、学習したことが身についている。	85	92	92	92
	(20) 児童は、家庭学習(10分×学年)をしている。	70	50	60	75

② 豊かな心の育成ができたか。

評価者	評価項目	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
児童	(3) 学校は楽しい。	92	94	97	94
	(5) 友達と仲良く思いやりの心をもって生活している。	91	97	98	94
	(8) 先生は、自分の良さや気持ちをわかってくれる。	92	96	100	100
	(12) 先生は、困ったことや悩みの相談を聞いてくれる。	92	95	100	100
	(16) 明るく元気なあいさつをしている。	94	90	97	97
	(19) 学校は、いじめの防止に取り組んでいる。	95	95	98	96
保護者	(8) お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	90	98	100	98
	(10) お子さんは、友達と仲良く過ごし、思いやりの心をもって生活している。	96	95	100	98
	(13) 教師は、お子さんの良さや気持ちを理解しようと努めている。	75	93	96	84
	(18) 教師は、礼儀作法や社会ルールを守ろうとする態度が育つよう指導している。	94	95	96	96
	(21) お子さんは、明るく元気な挨拶をしている。	94	90	82	80
	(25) 学校は、いじめの防止や生徒指導に努めている。	83	89	92	94
教職員	(8) 児童は、楽しく学校生活を送っている。	92	100	92	92
	(13) 教師は、子どもの良さや気持ちを理解するよう努めている。	100	83	100	92
	(21) 児童は、明るく元気な挨拶をしている。	85	84	100	84
	(23) 学校は、いじめの防止や生徒指導に努めている。	100	75	92	84

③ 健康でたくましい体づくりの推進ができたか。

評価者	評価項目	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
児童	(2) 行事（遠足、運動会、丘山縁日など）は、楽しいものが多い。	100	97	100	100
	(4) 好き嫌いなく食べて運動や外遊びをしている。	82	86	88	88
	(7) 失敗を恐れずにより高い目標にチャレンジしている。	91	80	86	86
	(16) 明るく元気なあいさつをしている。	94	90	96	97
保護者	(6) 学校は、お子さんが生き生きと活動できるような行事を行っている。	98	93	100	93
	(9) お子さんは、好き嫌いなく食べたり運動や外遊びをしたりしている。	96	96	89	84
	(12) お子さんは、失敗を恐れずにより高い目標をもって生活している。	79	71	66	60
	(21) お子さんは、明るく元気な挨拶をしている。	94	90	82	80
教職員	(6) 学校は、児童が生き生きと活動できるような行事を行っている。	100	93	100	100
	(9) 児童は、好き嫌いなく食べたり、運動や外遊びをしたりしている。	92	96	92	92
	(12) 児童は、失敗を恐れずにより高い目標をもって生活している。	77	71	69	75
	(21) 児童は、明るく元気な挨拶をしている。	85	90	100	84

安全指導＋施設の安全

評価者	評価項目	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
児童	(1) 学校の施設や遊具は安全に使える。	98	100	100	100
保護者	(2) 学校は、児童の安全確保に適切な指導や取組を行っている。	94	93	98	100
	(7) 学校は、施設・設備などの管理を行い安全な環境が保たれている。	96	91	91	94
教職員	(2) 学校は、児童の安全確保に適切な指導や取組を行っている。	100	100	100	100
	(7) 学校は、施設・設備などの管理を行い安全な環境が保たれている。	84	92	69	83

④ 地域の教育力を活かした学校づくりの推進

評価者	評価項目	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
保護者	(1) 学校は、今年度の取組を保護者にわかりやすく説明している。	92	96	98	93
	(3) 学校は、保護者の意見を聞く場を設けている。	81	87	95	84
	(4) 学校は、お子さんの活動の様子をわかりやすく保護者に伝えている。	83	89	96	86
	(5) 学校は、保護者の願いに応えている。	89	89	96	85
教職員	(1) 学校は、今年度の取組を保護者にわかりやすく説明している。	100	100	100	100
	(3) 学校は、保護者の意見を聞く場を設けている。	100	100	100	100
	(4) 学校は、児童の活動の様子をわかりやすく保護者に伝えている。	100	100	100	100
	(5) 学校は、保護者の願いに応えている。	100	92	100	100

⑤ 幼・小・中の連携、他校との交流活動の推進ができたか。

評価者	評価項目	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
児童	-----				
保護者	-----				
教職員	(25) 丘山幼稚園との連携・交流が図られているか	92	100	92	92
	(26) 城西小・西中との連携推進が図られているか。	62	92	84	84

⑥ 子どものニーズに対応した特別支援教育の充実が図れたか。

評価者	評価項目	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
保護者	(3) 学校は、保護者の意見を聞く場を設けている。	81	87	95	84
	(5) 学校は、保護者の願いに応えている。	81	89	96	85

教職員	(3) 学校は、保護者の意見を聞く場を設けている。	100	100	100	100
	(5) 学校は、保護者の願いに応えている。	100	92	100	100
	(17) 教師は、子どもや保護者の相談に迅速かつ適切に対応している。	100	92	92	92
	(24) 学校は、児童・保護者のニーズに対応した特別支援教育を実施している。	100	92	92	100

⑦ 職員の研究と修養は推進されているか。

評価者	評価項目	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
児童	(9) 先生は、まちがった行動をしっかり注意してくれる。	93	96	100	100
	(10) 先生は、わかりやすく楽しい授業をしてくれる。	95	96	98	100
	(11) 先生は、わかるまでいねいに教えてくれる。	94	95	100	100
	(13) 先生は、礼儀やきまりをしっかり教えてくれる。	96	96	100	100
保護者	(14) 先生は、子どもの誤った行動について毅然とした指導をしている。	92	89	94	88
	(15) 先生は、わかりやすく楽しい授業を行っている。	94	95	94	95
	(16) 先生は、子どもがわかるまで丁寧に教えてくれる。	83	91	94	89
	(18) 先生は、礼儀作法や社会のルールを守ろうとする態度が育つように指導している。	94	95	96	96
教職員	(14) 教師は、子どもの誤った行動について毅然とした指導をしている。	100	83	100	92
	(15) 教師は、わかりやすく楽しい授業を行っている。	100	92	100	92
	(16) 教師は、子どもがわかるまで丁寧に教えてくれる。	100	92	92	92
	(18) 教師は、礼儀作法や社会のルールを守ろうとする態度が育つように指導している。	100	83	100	92